

平成27年度 学校評議員による第三者評価の結果

<p>平成27年度の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 主体的によりよい生活・学習のあり方を求め、思考し、的確に判断しながら行動(表現)できる生徒を育てる。 2 互いの価値観を認め、仲間と学び合い支え合いながら、(自分ではない)誰かのために貢献できる生徒を育てる。 3 家庭・地域と連携し、三者一体となって生徒を育てるとともに、(地域が同一である)小学校との一貫教育を推進していく。
<p>今年度学校経営方針「子どもの自主性と共生的な態度を引き出す教育課程の創造」</p> <p>【5つの柱】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 言語活動の充実・・・授業での実践、特別活動での実践。 2 教職員の協働・・・目的・目標を全職員で共通理解し、同じベクトルに進む。 3 共生的な態度・・・互いの価値を認め、支え合い、助け合う態度。 4 小中一貫・・・一貫カリキュラムの整備による学力向上、中一ギャップの解消等。 5 人材育成・・・教職員の指導スキルとキャリアアップを図る。 <p>【3つの重点活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自ら課題を見つけ、解決にむけて思考し表現する力やコミュニケーション能力を培うカリキュラムの作成。 2 学校内外で他者に関わる活動、人や地域に貢献する活動を進める。 3 チーム布佐として協同・協働できる組織。
<p>めざす生徒像</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学力・生活力の向上をめざし、その方法を考えて自己実現に向けて全力で努力できる生徒。 ② 学校や自己の所属集団に誇りを持ち、仲間と協力して一生懸命に諸活動に尽くせる生徒。 ③ 地域を愛し、地域と協働しながら、よりよい社会の形成に向けて参画できる生徒。
<p>めざす学校像</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学校を核として、保護者・地域と連携しながら、みんなでつくる地域の学校。 ② 先生も生徒も通うことが楽しく、日々を充実した気持ちで過ごせる学校。 ③ 地域コミュニティの中核としての役割を果たせる学校。

1. 学校経営全体に関するもの。

○本校の教育計画は、生徒や保護者の願いを踏まえ、本年度の重点目標を推進するようになっていたか。

No.	評価
①	学校経営全体としては、管理職はもとより教職員の現場で頑張る姿が随所に見られ、生徒も落ち着いた雰囲気の中で学業や部活に励んでいたと高く評価している。
②	重点目標の「主体的によりよい生活・学習のあり方を求め…」と「互いの価値観を認め…」については、職員・生徒・保護者の自己評価集計結果を見ても、おおむね達成できている。ただ、「家庭・地域と連携し、三者一体となって…」については、学校側のこれまでの地道な努力は評価するものの、今後の三者の関係を単なる「交流」から「連帯」「熟成」へと導く必要を感じる。
③	真の一体化実現という目標へ向け、来年度にも開かれる3校運営協議会などの場での活発な意見交換を望む。
④	早々に行事予定表を作成しているのが良い。
⑤	教育目標とそれを達成するための「5つの柱」や「3つの重点活動」も、教育活動、学校経営を打ち出す場合と振り返る場合の物差しとして関係各位にわかりやすいものとなっている。特に学校行事は、教職員、生徒、保護者、地域をも巻き込む、それぞれが育つ場として取り組んでいるのが分かる。
⑥	学校便りがその取り組みの努力や様子を伝えてくれ、生徒全員を温かく応援して下さっている先生方の視線が読み取れる。またそれを読ませていただく我々地域住民も、布佐中学校そのもの応援したい気持ちにさせてくれる。来年度も頑張ってもらいたい。
⑦	布佐中生徒の実態をよく把握、研究し、いわゆる布佐型の課題を構築し、その改善等に向け、教職員が一体となってよく努力している。 布佐タイムをもっと拡充・充実できないか。地域の人々にその知名度が低い。内外に向けてアピールできる布佐中学校の一番の取り組みだと思う。例えば小学校2校との連携で、小学校型の布佐タイムを7年間ぐらいは継続可能だと思う。
⑧	学校教育目標である自ら学び、共によりよく生きる生徒の育成という事から考察すると、考えて行動することができる自主性をもっと育めるよう、一人ひとりが何かの係等のリーダーに必ずなれるように配置したりして、人を取りまとめることの難しさを学べる場を増やせば、自主性の向上につながる。共によりよく生きるという「共生」とい点では、他人を思いやり、いじめのない学校作りに力を入れ、安心して通うことのできる学校になっていると感じている。

2.学習指導に関するもの

○本校の学習活動は、生徒の実態や保護者の願いに合ったものになっており、生徒の学力(学習意欲、思考力)を高める取り組みとなっていたか。

①	専門的なことはわからないが、教職員の自己評価の達成率から見て、布佐中らしい学習指導が実践されていたと評価する。
②	教職員の自己評価の中の様々な改善策や伸長策を読むと、現場で試行錯誤しながら努力工夫している姿がうかがえる。
③	小中一貫教育のモデル校というミッションを担いながらの健闘にエールを送る。ただ、保護者アンケートの中には、いっそうの学力向上を求める声が散見され、そうした声に応えていか、来年度へ向けての課題も多い。
④	授業の学習内容は指導要領に沿っているので議論の外だが、学習の理解や深まり、展開は教師の手腕にかかっている。予習・復習等の家庭学習はあまりできていないような保護者からのアンケート結果であるが、宿題という形にした場合、案外取り組んでいるように思われる。宿題の形で、生徒を家庭学習に追い詰めるのも有効な手であるかと思う。学力が上がる事は本人も家族も先生方も地域の皆様も嬉しく、良いことであると思う。
⑤	学校の経営方針「5つの柱」「3つの重点目標」を日々実践してきた姿がよく見え、教職員、生徒アンケート等の結果につながっている。さらに自信を持って推進していただきたい。
⑥	家庭学習への取り組みをもっと向上できれば、学力のレベルアップにつながっていくのではないか。しかし中学生はとても忙しく、なかなかその時間をとるのが難しいと言うのもわかる。部活動なので疲れてしまうというもあるだろう。予習・復習等の家庭学習時間が毎日少しでも取れるように生徒たちの学習欲を引き出せるようにしてほしい。

3.生徒指導に関するもの

○家庭や地域と連携を図りながら、生徒の健全育成(他を思いやる心・貢献)の取り組みがなされているか。

①	生徒指導については、校内の落ち着いた雰囲気、学校側の努力と成果を物語っている。ただ、生徒アンケート集計結果に見られる「予習」「復習」などの家庭学習の意識の低さが気になる。学校としてそうした課題に向き合いながら努力しているのは理解するが、特効薬が見つからない以上、三者の知恵と工夫を結集して、改善へ向けての道筋を模索したい。
②	通学路がわかりやすく、登下校の生徒の姿が見えやすい地域だと思う。登校時には誘い合ったり、下校時は集団で話しながら通り過ぎたりしている。服装も皆きちんとしていて、家の人が生徒を大切にしているのが感じられる。ただ時々生徒同士の言葉遣いに驚いたことがある。親や先生の前では決してあの言い方はしないだろうと。あの後、彼らは自分の気持ちをセーブできたろうかと。多感な年頃、家庭との連携がとても大事に思った。先生方は家庭訪問や保護者への声かけを頑張っていた方がよい。子供の育ちに無関心な親はいない。
③	地域は地域ルーム関係との連携だけで、各自治会等との連携はできていない。
④	部活や布佐タイムでの指導は大変なことだが、今後も地域を巻き込んで、布佐4校の連携もさらに継続していただきたい。
⑤	布佐中は、地域との関わりを大切にしながら人の心というものを育成していると思う。非行少ないのも、その表れだと感じる。学校は学力向上が最優先である。しかし人間育成も優先順位の上位である。布佐中は地域活動に力を入れていることを言い訳として、学力向上から逃げていることは決してないと思う。

4.その他、小中一貫教育推進に関すること等、学校教育全般について。

①	新1年生の生徒数が少ないことにより、教職員数の減少やそれに伴う校内環境及び雰囲気の変化があると思う。布佐中は、“山椒小粒でもぴりりと辛い”との高い評価を受けるためにも、教職員のいっそうの頑張りは当然として、学校支援地域本部やPTA活動などとの連携強化やさらなる実践的な協働が求められることでしょう。
②	福岡市の振興マンション地区に、公立の小中一貫校ができ、引っ越しをしてでも入学させたいという話や、大分の山間部で、小中一貫校に替えたと言う話を聞いた。先日の評議員会での宇都宮市や市川市の話などを伺うと、世の流れとして、小中はすべて一貫校になるのだろうか。分離型で、困難な課題の多い中、先生方はご苦労様だがより良い生徒の育成のために、目的、目指す生徒像を確かめながら推進活動を活性化して欲しい。
③	小中一貫教育は、校長・教頭・教務と一部の教職員のみで、その他の教職員には浸透していないように思う。
④	我孫子市が導入を決めた小中一貫教育推進には、教育委員会の熱意が伝わってこない。布佐地区としてもっと市教委にアピールすべきだ。 地学校支援地域本部コーディネーターがどのように関わっているか。一部の人に偏っているようにうかがえる。地域の人が離れるのではないかと心配している。
⑤	小中一貫教育は、我孫子市では初めての試みなため、とにかくやってみて問題を洗い出し、1つひとつを見直しながら作り上げていくしかない。今まで様々な事を打ち合わせしてきた教職員がこの4月の人事異動で不在になってはならない。この4月の人事異動は、布佐中区の教職員があまり動かないことを願う。